

■新井白石 儒学者・政治家。家宣が将軍になるや、ブレーンとして“正徳の治”を現出するも、理想に過ぎ失脚した。

あらいはくせき

明暦の大火・1657＝ 江戸柳原の内藤邸内の久留里藩主土屋利直の仮邸で、藩の足輕新井正済の子に生まれる。母は坂井氏の娘千代。幼名は与五郎。名は君美、通称伝蔵。姉1人。

新井家はもと常陸国下妻城主多賀谷氏に仕えたが、関ヶ原の戦の後、主家とともに所領を失う。父正済は江戸へ出奔し、当時流行のかぶき者のような生活を送った後、上総国久留里土屋利直に仕えた。

家は貧しかったが、幼時より頭脳明晰で、

諸宗寺院法度1665＝ 8歳：この頃から、1日4千字を手習い、また、剣術の稽古にも打ち込む。

酒井忠清大老1666＝ 9歳：父から忍耐だけを修練すべきことを叩きこまれて育つうち、

ジャクシャインの乱 1669＝12歳： 勉強熱心さの噂が藩主土屋利直の耳に届き、藩邸に呼ばれて、代筆までするようになるが、

越後屋オブン 1673＝16歳： 「翁聞答」(中江藤樹著)を読んで儒教に開眼、初めて詩文を作り、以後、独学するうち、

談林派俳諧・1675＝18歳： 土屋利直の死去直前に土屋家の家督争いが起こり、その騒動で利直の逆鱗に触れ、父とともに謹慎処分、

・・・・・・1677＝20歳： 後を継いだ頼直によって追放され、父の封禄も召し上げられてしまう。
貧窮のうちに經史詩文を学ぼうと、対馬国の儒者阿比留(西山順泰)に出会い、

藤十郎登場・1678＝21歳：母千代が死去。

徳川綱吉将軍1680＝23歳：

豪商角倉了仁や河村瑞賢から縁組の話があるも応ぜず、土屋家断絶で他家への仕官が可能になると、父が死去。*中堀田正俊に出仕。阿比留の紹介で、綱吉の将軍襲職の祝賀のために来訪した朝鮮通信使に、詩を見せたところ、絶賛されて、名が知られるようになるが、この間、堀田正俊の家臣朝倉長治の娘と結婚。

堀田正俊暗殺1684＝27歳： 主君正俊が若年寄稲葉正休に斬殺されてしまい、堀田家が山形へ移封され、禄米も削られたため、

・・・・・・1686＝29歳： 致仕して、浪人となる。またも阿比留が声をかけてくれて、木下順庵の門人になるや、

生類憐令始・1687＝30歳：

日本永代蔵・1688＝31歳： 「翰墨蒙訓」を書く。

高弟として木門の五先生または十哲の一人に数えられるに至る。
この間、'金銭欲と色欲だけは慎め'と父と同じことを師順庵からも聞いて教訓とし、また、加賀前田家に出仕する話があった際、同門で加賀出身の岡島石梁が母の孝養のために帰藩したがっていることを知り、そのポストを譲ったりもしている。

奥の細道・・1693＝36歳： *順庵の推挙により、甲府藩主徳川綱豊の侍講となり、厚遇される。

生類憐令頂点1695＝38歳：

勉強家であった綱豊に、頻繁に古典や歴史書を教え続け、

綱豊の命で、諸大名377家の由来・事績を丹念に調べて、

赤徳浪士討入1702＝45歳： 「藩翰譜」(12巻)を進上。

赤徳浪士切腹1703＝46歳： 大火にあい、新居に移る。

団十郎刺殺・1704＝47歳： 綱豊が叔父5代将軍綱吉の養子家宣となったとき、幕臣として寄合に列せられ、

富士宝永噴火1707＝50歳： 飯田町に屋敷を拝領し、移転。

徳川綱吉没・1709＝52歳： *さらに家宣が将軍となると、その顧問となって、「急務三カ条」を皮切りに幕政の改革に乗り出し、宣教師シドッチを尋問、

冥途の飛脚・1711＝54歳： 従五位下筑後守に叙任、知行地1000石を与えられる。

乾山陶器店・1712＝55歳： 江戸へきていたオランダ人、カピタン・コルネリス＝ラルダインを善竜寺に訪れて西洋事情を尋ねる。息子の宜卿をオランダ人宿舎へつれて行き、オランダ外科の診察を受けさせる。「本朝古今沿革余論」。綱豊時代に講じた歴史を「読史余論」にまとめる。家宣の死後も側用人間部詮房とともに幼将軍家継を補佐し、通貨改良、貿易制限、司法改革などに努力し、“正徳の治”とも称されるが、

国姓爺合戦・1715＝58歳： 「西洋紀聞」をまとめた頃には、あまり理想にすぎ、かつ他人と妥協するところがなかったため、しだいに間部詮房とともに孤立の状態となり、

徳川吉宗将軍1716＝59歳： 「古史通」「古史通或問」。*家綱が夭折して、吉宗が将軍となるや罷免され、失意のなか、のちに名随筆とされる自叙伝「折りたく柴の記」を執筆、

隅田川の桜・1717＝60歳： これまでの屋敷も召し上げられ、別に与えられた伝通院裏門前の小石川柳町に隠棲。

洋書輸入解禁1720＝63歳： 江戸大火で罹災したり、三男宜卿が死去するなど、さらなる不遇の中、晩年は「東雅」「蝦夷志」「新井家系」「本佐録考」「史疑」など、著述にはげんで、

・・・・・・1725＝68歳： 「采覧異言」の校訂を完了後、没した。